

「あるある情報館」で中古改修

注目企業

ネクストワン インターナショナル

韓国でもリフォーム開始

新築を中心に年間30億円強を売り上げるネクストワンインターナショナル(東京都港区)。同社は、中古住宅の仲介とリフォームをワンストップで行うサービスを中心に、リフォームでも5億円を売り上げてきている。同社の遠藤一平社長に戦略を聞いた。



遠藤一平社長

大型ショールームで 月80組集客

同社のリフォーム事業の中心的な役割を担うのは、千葉県千葉市にある「あるある情報館」。約100坪のショールーム兼オフィスには、リフォーム前と後を比べられるモデルルームが設置されている。

月間の来店者数は80組ほど。年間で70〜80件の物件を仲介し、50件ほどのリフォームを受注して

海外事業にも注力

いる。単価は400万〜500万円。また、中古住宅の買取再販も2年ほど前に開始。昨年は25戸を販売した。

来年には都内にも「あるある情報館」を出店し、中古住宅のワンストップ事業をさらに強化する。

「あるある情報館」を



▲リフォームの前後を見比べられるモデルルームを設置した大型の店舗



▲韓国オフィスには韓国人と日本人のスタッフが3名ずつ所属



▲築40年以上の物件も、全面改修で現代的なデザインに

アジアに現地法人
賃貸仲介手掛ける

海外での事業に積極
ある点も同社の特徴だ。

韓国では約1年半前に現
地邦人向けの賃貸仲介事
業と生活支援サービスを
開始。韓国の邦人向け仲
介の成約件数は、業界ト
ップレベルになっている。

また、日本企業が飲食店
などを出店する際の改修
工事も請け負っている。

来年には、韓国人を友
ーゲットする住宅のリフ
ォーム事業もスタートす
る。「あるある情報館」
と同様の、中古仲介+リ
フォームのサービスを展
開する予定だ。現在、日
本語が話せる韓国人スタ
ッフ3人と韓国語が話せ
る日本人スタッフ3人が
現地のオフィスに所属。

「現地で不動産ビジネ
スを行える人材が既に揃
っているのが不安はあり
ません。今の事務所では
手狭なので移転して、ど
うせなら物件を紹介しつ
つ、リフォーム後のイメ
ージを分かってもらえる
モデルルームを用意した
い」(遠藤社長)

また、3年前にベトナムにも法人を設立。ビル
などの造成工事を中心
に、年間1億円を売り上
げている。こちらでも店
舗やオフィスのリフォー
ムを行っている。年度内
に、新築住宅事業を開始
する予定だ。